業見

さまざまに住めば都とりつなりけり
十とせ乃春を三河の都に来ぬ
あまたさまざまぬとも相見ぬれ

京ちかく江戸をさかりし國の春

業芳

君のあるかの春にまゐらせ
としこそ遠

奥

兄をけや風ゆ野ゆ千世に
むめのはな

右

春望亭

柳波

天明丁未春